



Front Monitor



Rear Monitor

Front Recorder



前方撮影用のカメラの大きさは、87.9×50.6×31.9mm（ブラケット取り外し時）とフルハイビジョン録画対応ながらコンパクト。JVCケンウッドの小型集積化技術でカメラの小型化を実現した。DRV-MR740 オープン価格、想定実売価格は3万4000円前後。

Rear Recorder



DRV-MR740の後方撮影用カメラも44.0×40.4×33.0mmとフロントカメラと同じフルハイビジョン録画対応ながらかなり小さい（前方撮影用カメラとセット）。リアウィンドウへの装着も簡単だ。

Attention ！ 今月の注目

KENWOOD

ケンウッドが提案する新基準

ドライブレコーダーは2カメラがいい！

ケンウッドがドライバーのニーズに応えた新たなドライブレコーダーを発売。2台のフルハイビジョンカメラがクルマの前後をしっかり見守る！

文=永野正雄（本誌）

問い合わせ=JVCケンウッドカスタマーセンター ☎0120-2727-87

危険運転報道をきっかけに、その有効性が幅広く認識されるようになったドライブレコーダー。昨年10月から今年7月にかけての国内販売台数は前年比184%（GfK Japan調べ）で、今やドライブレコーダーはドライバーが身を守るためのマスト・アイテムになったと言えるだろう。では我々がドライブレコーダーに求める一番の機能とは何か？ それはもちろん、高画質録画である。ケンウッドの最新ドライブレコーダーDRV-MR740は、デジタル放送と同じフルハイビジョンでの録画に対応。また、業界でもトップクラスの明るさを持つ「F1.8レンズ」を搭載し、しかもHDR搭載で日中のみならず夜間やトンネル内においても、くっきりとしたきれいな録画を可能にする。だがDRV-MR740が優れているのは、高画質なだけだからではない。フロントガラスとリアウィンドウにカメラを取りつけ、クルマの前方と後方を同時に録画する2カメラ・タイプだからだ。フロント用カメラだけでなく、リア用のカメラがあれば後方を走る車両の様子さえもはっきりと分かるので、万が一の事態に遭遇しても、前後の状況を「撮りこぼすことなく再現できる。高画質・高性能で2カメラ。これこそがケンウッドが提案するドライブレコーダーの新標準である。

トンネルの出入り口もきれいに



HDRなし



HDRあり

DRV-MR740のカメラには「HDR（ハイダイナミックレンジ）」機能を搭載しているため、トンネルの出入り口付近で発生する白トビ・黒つぶれも抑えて、きれいな高画質で記録する。画質はイメージ

駐車場でもしっかり監視

車載電源ケーブルCA-DR150（別売り）を使用すれば、最長24時間の駐車監視録画を行うことができる。駐車中のクルマに衝撃が加えられたり、カメラが動体を検知したりすると、検知前5秒間、検知後5秒間の映像を録画保存してくれる仕組みだ。また自動起動設定をオンにしておけば、車両から離れて約5分後に駐車時の車両監視を開始する。



アプリで車両前後の走行映像を同時再生

PC用のアプリ「KENWOOD ROUTE WATCHER II」を使えば、撮影した車両前後方の映像をパソコン上で同時再生することができる。また撮影時の走行位置を、地図上で表示することもできる。